

共同助成(福島県遊技業協同組合連合会)

## 「子ども達の可能性と共に創る地域力向上プログラム」事業

### 自由な動きや発想で創るコンテンポラリーダンスで 子どもたちに表現力と町づくりへの興味を喚起

モダンダンス、バレエ、舞踏などの様々なジャンルの要素を取り込みながら、なおかつ既成の枠にとらわれない、自由な発想のダンスをコンテンポラリーダンスと呼ぶ。このコンテンポラリーダンスのワークショップを通して子どもたちに表現することの面白さを伝え、東日本大震災後の町づくりに生かそうと取り組んでいる。



「なこそ希望プロジェクト2016～サロン祭り&ダンスワークショップ発表会～」



ダンスを通して表現力を育んだ

### 阪神淡路大震災後の町づくりに活用されている コンテンポラリーダンスの視察を契機に

福島県いわき市勿来地区で、震災後の復興町づくりに取り組んでいる「NPO法人勿来まちづくりサポートセンター」。2013年には震災の記憶を風化させないために津波被災者の証言集や映像を取めたタイムカプセル型のモニュメントを設置する事業に取り組み、その事業にAJOSCの助成が活用された。

同法人では、町づくり活動の一環として、子どもたちの可能性や活力に着目し、それらを地域力の向上に結び付けていくための土台づくりとして、2015年度からコンテンポラリーダンスのワークショップを継続実施しているが、2016年度、この事業の運営にAJOSCの助成が役立てられた。

「コンテンポラリーダンスに注目するようになったのは、阪神淡路大震災から20年が経過して、どういった町づくりが行われているか視察したことがきっかけです。長田地区

を拠点に活動するダンスボックスというNPOがあり、そこがコンテンポラリーダンスを通して地域社会と連携し、地区の活性化などの事業に取り組んでいました。これは勿来の町づくりに生かせるのではないかと思います、交流のあったいわき芸術文化交流館アリオスの企画担当の方などにも相談し、勿来まちづくりサポートセンターの活動として取り組むことにしました」

同団体でこの事業を担当する國政典恵さんは、そのきっかけをこう話す。子どもたちを対象としたのは、地元の大人が復興のために様々な町づくりの活動に取り組んでいることを知ってもらい、将来的に町づくりに参画してほしいという思いがあってのことだという。いわば子どもたちとの接点を求めてのことである。また、子どもたちがダンスを通して表現力を向上させることで、普段の生活が生き生きとしたものとなり、それがひいては活気ある町づくりに貢献することを期待しているという。

### 小学校と高校+養護学校で実施した コンテンポラリーダンスのワークショップ

2016年度のワークショップは、いわき市立川部小学校の5年生約30名と、福島県立勿来高校演劇部員+いわき養護学校くぼた校生徒を対象に行われた。講師はダンスボックスから紹介されたダンサー2名、アシスタントはダンスボックスから派遣された1名が担った。

小学校でのワークショップは授業の一環として組み込まれ、授業2時限分を1回として計6回行われ、成果は11月に行われた秋の学習発表会で披露された。ワークショップでは子どもたちの動きの様子を見ながら、ひとつのダンス作品として組み立てていくが、その動きは自由な発想や感情の発露によるものである。「最初はおとなしかった子どもたちも、表現する楽しさを感じた最後のほうでは、ものすごく活発に動いていました」と、國政さん。

高校生を対象とするワークショップは、当初、勿来高校演劇部の活動として企画されたが、ちょうど高校の校舎内に養護学校が併設されることになり、お互いの交流を図る

目的を加えて、共同で行うことになったという。こちらも1回あたり90分間で、計6回実施された。「健常者と障がい者、意識すること自体がおかしいくらい、最初から両者に境目がないという感じでした。そもそも身体を使って何かを表現することに、健常者と障がい者の違いなどないのだと実感しました」と、國政さんは話す。

その成果は、12月23日に開催された「なこそ希望プロジェクト2016～サロン祭り&ダンスワークショップ発表会～」で披露された。これには川部小学校の希望する子どもたちも参加した。詰めかけた観客からは、「すごい!」との声が上がったという。

### 福島県遊技業協同組合連合会より

ダンスによる健常者と障がい者の交流や子どもたちが表現力を向上させることで、活気ある町づくりに貢献することに期待します。



授業の一環として行われたダンスワークショップ



ダンスワークショップと発表会を告知するチラシ

助成団体: 特定非営利活動法人 勿来まちづくりサポートセンター

<http://nakoso.net>



### 参加した子どもたちと一緒に町づくりをしていきたい

2013年に続き、私どもの事業に助成をいただきありがとうございました。おかげさまで事業運営を滞りなく進めることができました。発表会のための衣装も揃えることができ、参加した子どもたちは大喜びでした。今回の事業でコンテンポラリーダンスの可能性に気づくことができたので、今後も何らかの形で活動に生かしていきたいと思っております。

NPO法人 勿来まちづくりサポートセンター  
國政典恵さん